

PROFHILO(プロファイロ)の説明書

この用紙では上記の施術について説明します。ご不明な点は医師、またはスタッフに確認してください。お伝えする内容、記載された内容は一般的なもので個人差があります。

▶安全に施術を受けていただくために

既往歴、現病歴、手術歴、使用中・服用中のお薬について、妊娠・出産・授乳について、アレルギー・その他お体で心配なことについて事前に申告してください。申告がない場合、当院では一切の責任を負いかねます。また、施術部位の近くに異物が入っている方は、合併症が起こりやすく、施術をお勧めしません。何らかの合併症が起きた場合にも、当院では責任を負いかねます。



禁忌 <該当する方はお受けいただけません>

- 妊娠中・産後3ヶ月以内(3ヶ月以内の中絶・流産含む)
- がん(悪性腫瘍の未治療～治療中)

要注意 <該当する方はお受けいただけない場合があります>

- 授乳中 □心疾患 □自己免疫疾患 □膠原病 □糖尿病 □てんかん □アトピー □ケロイド体質
- ヘルペス(部位:) □施術部位の手術2ヶ月以内 □施術部位の2週間以内の注射
- 知覚障害(部位:) □感染症() □現病歴() □既往歴()
- 内服・外用薬() □薬物アレルギー() □レチノール配合化粧品
- ハイドロキノン配合化粧品 □3日以内のワクチン接種

▶プロファイロとは？

肌の土台となる脂肪細胞や、ハリやキメを守る繊維芽細胞、角化細胞の産生を促進させる施術です。また架橋剤を使用していないため、アレルギーのリスクが非常に低く、安定性のある薬剤です。

効果: 小じわなどの弾力性やボリュームの減少をナチュラルに改善させる効果があります。その他、肌質、くすみの改善、肌の弾力アップなどにも期待できます。

作用時間: 1ヶ月間隔で2回処置し、その後は半年ごとを目途に継続して頂くと効果の継続を実感できます。

施術箇所: 顔・首・手の甲

併用するとより効果的な治療: 美容マスク

成長因子の入ったマスクを施術後にのせることでふっくらとした肌へ導きます。ご自宅での使用も可能です。



▶施術当日の注意点

- ・医療行為に伴う使用物品などで衣類が汚れてしまう場合がございますので、汚れてもよい服装でご来院ください。
- ・来院時間に遅れた場合やむなく麻酔クリームの塗布時間短縮や、施術部位の制限、施術をお断りすることがあります。
- ・酒気を帯びている場合施術をお断りすることがあります。
- ・貴金属・貴重品はお持ちにならないでください。
- ・お持ちいただいた薬剤(麻酔など)の使用はできません。
- ・傷痕やタトゥー、麻痺部、ケロイド箇所などは避けて施術することがあります。(色素沈着や凹凸があるため)

- ・施術中に担当医・看護師以外のスタッフが入室する場合があります。
- ・メイクを落とし、麻酔クリーム塗布・消毒を行ってから施術いたします。

※麻酔クリームをつけて、【鎮痛】をします。

リスク・接触性皮膚炎(赤み、かゆみ、蕁麻疹など)・表皮剥離、刺激感、熱感 など

▶施術後の一般的な経過

- ・個人差はございますが、針穴や注入による膨隆は数日で目立たなくなります。
- ・注射針による内出血・注入部分に発赤・腫れ・痛み・つっぱり感・熱感・硬結を生じることがあります。これらは1～2週間程続くことがありますが、内出血はコンシーラーで隠せる程度です。

▶▶このような症状が起きることがあります

※施術後に以下の症状もしくは施術に起因すると考えられる症状がみられ、医師が治療を必要と判断した場合、治療の必要性を説明、同意のうえ適切な治療を行います。

- 稀にアレルギー、感染、痺れ、倦怠感、頭痛、筋肉痛、蕁麻疹、痒み、むくみ、発熱、咳、冷や汗、胸痛、アナフィラキシーショック、呼吸困難、左右の非対称、刺入部の陥没などを生じることがあります。
- 注入物が血管内に注入されると皮膚の血流が悪くなり血行障害を起こすことがあります。血流が非常に悪くなると、皮膚の萎縮や壊死を生じることがあります。
- 万が一、このような症状が生じた際は当院へご連絡ください。施術後、何か気になることやご心配なことがありましたら、当院へご連絡ください。当院での施術部位について、他院でご相談や施術を受けた場合、当該部位について当院で対応することが出来なくなることがあります。

▶▶アフターケア

・施術部位は、こすったり刺激しない様注意してください。感染、ボコつきの原因となります。

・血行がよくなる事(エステやサウナ、激しいスポーツ、大量の飲酒等)は1週間程度はお控え下さい。副作用が出やすくなります。腫れ、痛み等ある場合は、消失後から可能です。

洗顔フォーム メイク落とし	当日から可	化粧水・乳液	当日から可
メイク	当日から可	シャワー・入浴	当日から可
施術部位の マッサージ	1週間後から可	通院間隔	1ヶ月間隔で2回処置し、 その後は半年ごと

症例写真

